



公明党

松岡 信生 議員



教育

「小中一貫校」設置を含む「学校園の在り方」を問う

議員 来年度から学校園の統合を含む「学校園の在り方」が検討される。保育を含めた「認定子ども園」とともに、要検討と思われる教育に「小中一貫教育」がある。9年間連続した教育課程を編成し「評価が高い」教育として、全国各地で取り組みが進んでおり、これまでから会派としても設置について度重なる主張をしてきたが、今後の市の「小中一貫校」設置を含む「学校園の在り方」について伺う。

市 子どもたちの教育環境の充実を目指す

来年度から学識者や市民等で構成する「学校園のあり方審議会」設置を予定している。学校の適正規模、適正配置のほか「小中一貫校」や「公立幼稚園の認定こども園化」などについても考え、新たな教育・保育制度を活用した魅力ある学校園づくりについても議論いただき、教育環境の一層の充実を目指す。(鹿嶽教育長)

福祉

「ひとり親家庭」への支援を問う

議員 近年、家庭の経済格差が教育格差や就労格差に繋がるとの指摘の中で、母子家庭への支援として、婚姻暦のない「ひとり親家庭」への寡婦(夫)控除「みなし適用」実施が全国や阪神間でも広がっている。制度導入について市の考えを伺う。

市 経済的な負担の公平化を検討する

抜本的な解決策は国の関係法令の改正であり、市は全国市長会を通じ国における制度改正を要請している。婚姻暦の有無による各種事業において生じる格差は、是正すべき問題と認識しており、行財政構造改革を進める中で子育て支援の整合性を図り検討を進めたい。(森市長)

道路

「無電柱化」に向けた計画策定を

議員 昨年12月、過去の災害の教訓を踏まえ「無電柱化推進法」が成立し、地方自治体にも地域の状況に応じた「施策策定・実施」を定めている。無電柱化に向けた計画策定、公表の考えを伺う。

市 防災計画に位置づけられる緊急輸送路線から検討する

以前から一部の道路において、主に美観向上目的で電線共同溝事業や電線の地中化に取り組んで来た。災害対策として無電柱化の推進が求められているが高額な費用を要するため、防災計画等に位置づけられた緊急輸送線から検討したい。(入江副市長)

市民の会

檜田 充 議員



行政改革

官の発想から民の提案に基づく市政展開を

議員 市では、総合文化センターの運営等多くの事業を民間に委託されているが、その運営方法については全てが市の発想に基づくものである。市が実施している事業を全て公開し、民間から独自性や工夫を活かした提案を募集し、取り入れれば、より市民の要望に沿った市政展開ができるのではないかと。

市 公共サービスの新しいしくみづくりに取り組む

民間等の提案により事業展開することは、公共サービスの向上につながることも十分考えられる。行財政構造改革の中では「成熟社会における公共サービスの新しいしくみづくり」を基本目標に取り組もうとしている。これを実施するためには、現行の各事業の業務工程の可視化と分析を行うとともに、施策を構成する事務事業を整理することにより、民間事業者等の創意工夫やノウハウを生かした新たな事業提案が期待できるものとする。(城下理事)



*事務事業：「政策」とは、市が目指すべきまちづくりの方向や目的を示すもの、「施策」とは政策を実現するための方策、「事務事業」とは施策を実現させるための具体的な手段であり、市が直接実施するものや補助金などを交付して実施するものがあります。

行政改革

国や県等の各種団体への負担金の精査は

議員 市民団体等への補助金について見直しが進められているが、一方で各種団体への負担金についてはどのような対応なのか。

市 公益性・必要性を十分に検証する

加入団体負担金は、法令等に根拠がある団体や任意加入の団体に支出している。これらは団体の規約や会則等に基づく請求により支出しているため、市独自の判断による脱退や負担金の削減が困難なものもあるが、公益性・必要性を十分に検証していく。(岩越経営管理部長)

道路

通勤時の道路渋滞解消の取り組みは

議員 テクノパークや第二テクノパークの通勤時に渋滞が発生している。今後、第二テクノパークへの企業誘致が完了し操業が始まると、さらに混雑が予想されるが市はどのような対応をするのか。

市 交通量の抑制につながる方策を検討する

通勤時の渋滞については認識しており、今後渋滞の要因となっている箇所などの現状を調査し、渋滞解消に向け警察等と交通の流れを良くする方策を検討する。またバスへの通勤手段の転換など交通量の抑制につながる方策についても検討を行う。(椋田技監)

